

主要施策名:(2)コミュニティ活動の充実

事務事業本数:3

基本目標(章)	主要施策(節)	施策区分	事務事業コード	事務事業	所管課
⑥公平で誇りの持てる社会づくり	(2)コミュニティ活動の充実	(3)地域コミュニティの担い手育成	623-1	公民館支館活動推進事業	コミュニティ推進課
		(2)コミュニティ活動拠点の整備	622-1	自治公民館施設整備事業	コミュニティ推進課
			622-2	天水支所周辺施設集約化事業	コミュニティ推進課

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H27実績	H28実績	H29実績	H30計画
① 玉名市公民館支館長育成事業	支館長会議・研修会を開催する。	研修会実施回数	回	3	3	3	3
② 玉名市公民館支館活動推進事業	公民館支館運営のために委託料を支出し、活動支援を行う。	委託料交付団体数	団体	21	21	21	21
③ 岱明町公民館支館事業支援業務	支館活動を通したまちづくりの支援を行う。	支援支館数	支館	4	4	4	4

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価		H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	H30年度予算
	対象(支館事業参加人数)	16276	10423	10374	10000
	投入コスト合計(千円)	16,471	15,995	16,102	15,839
	対象1単位あたりのコスト(千円)	1	2	2	2
	コスト評価(対前年比)	***	65.94% (↓)	98.87% (↓)	98.00% (↓)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H27目標	H28目標	H29目標	H30目標
			H27実績	H28実績	H29実績	
1 支館事業実施回数	支館が主催した事業の回数	回	72	79	78	80
			86	64	60	
2 支館事業参加人数	支館が主催した事業の参加人数	人	13500	14100	13700	10000
			16276	10423	10374	

* 成果未達成時の理由 地元の現状の把握とまちづくり、文化面での事業拡大を促すことが、不十分だったため。

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令で義務づけられている	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input type="checkbox"/> ・法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす	
	<input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている	
	<input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている	
	<input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる	
	<input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	
効率性 【22】	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	
	<input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である	
	<input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある	
	<input type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	
	<input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い c
	<input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した	
	<input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない	
	<input checked="" type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる	
	<input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい	
	<input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している	
公平性	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】	【24】
	<input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(該当しないため)	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	各支館の意向、要望を聞きながら、方向性を決め後押しできるように努める。			
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小して継続	総合判定 C
	<input checked="" type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input type="checkbox"/> 休止・廃止		
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	地域活性化の観点から将来的な支館委託料の見直しを検討し、活動充実を促していく。			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【27】	公民館支館は、市民主体の地域公民館活動の核となっている。地域コミュニティの構築や担い手づくりに大きな役割を果たすため、支館長研修や各支館活動に対する行政からの支援、情報提供などを継続して行っていく。	評価責任者 小山 聡
-------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H27実績	H28実績	H29実績	H30計画
① 自治公民館施設整備補助事業	公民館の新築・改修・修繕を行う行政区に対し、補助金交付を行う。	補助金交付単年度件数	件	9	8	6	7
②	公民館の新築・改修・修繕を行う行政区に対し、補助金交付を行う。	補助金交付累計件数	件	88	96	102	109
③							

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価		H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	H30年度予算		
	対象(補助金交付件数)	9	8	6	7		
投入コスト合計(千円)	9,525	5,271	13,476	8,936			
対象1単位あたりのコスト(千円)	1,058	659	2,246	1,277			
コスト評価(対前年比)	***	160.63%	(↑)	29.34%	(↓)	175.94%	(↑)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H27目標	H28目標	H29目標	H30目標
			H27実績	H28実績	H29実績	
1 自治公民館整備率	H17年度以降の補助金累計交付件数/全自治公民館数(258)×100	%	33.3	36.4	40.69	42.2
			34.1	37.2	39.5	
2						

* 成果未達成時の理由 1事業あたりのコストが高かったため。

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令で義務づけられている	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/> ・法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす	
	<input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要性が薄れている	
	<input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている	
	<input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる	
効率性 【22】	<input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている	
	<input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	
	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	
	<input checked="" type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある	
	<input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	
	<input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	
	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している	
公平性	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】	【24】
	<input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(補助事業のため)	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	地域の核であるとともに地域コミュニティの場である自治公民館は老朽化しており、外部塗装、瓦の葺き替え、洋式トイレ等の改修や建て替えの要望が増加している。			
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小して継続	総合判定 A
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	<input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止			
	今後も更に要望件数の増加が見込まれ、また、雨漏り等突発的な修繕にも対応できる予算を確保しながら、引き続き地域づくりの拠点施設の充実を図る。			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【27】	自治公民館の整備は、地域活動の推進に役立っており、地域生涯学習の拠点として整備が必要である。施設が老朽化している所も多く、瓦の葺き替えや様式トイレへの改修等、市民の要望に対応するため、自治公民館整備費補助金を交付することにより、施設整備の充実や地区の負担軽減にもつながっている。	評価責任者 小山 聡
-------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H27実績	H28実績	H29実績	H30計画
① (仮称)天水市民センター建設事業	集約化に向けた庁内会議を開催する。	検討会議回数	回	6	7	-	-
②							
③							

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価		H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算		H30年度予算	
	対象(検討会議)	6	7	0	0		
投入コスト合計(千円)	1,115	75,662	267,652		416,483		
対象1単位あたりのコスト(千円)	186	10,809	0		0		
コスト評価(対前年比)	***	1.72%	(↓)	0.00%	(-)	0.00%	(-)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H27目標	H28目標	H29目標	H30目標
			H27実績	H28実績	H29実績	
1 面積削減率	削減面積/現施設床面積(4,663㎡)×100	%	37	37	37	37
			48.2	47.4	47.4	
2						

* 成果未達成時の理由

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 市が事業へ関与する必要があるが薄い <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	効率性 【22】	<input type="checkbox"/> コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> 電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある
有効性 【23】		<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標を設定している <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> 法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある
	公平性	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> 金額が妥当 <input type="checkbox"/> 金額が高すぎる、または安すぎる <input type="checkbox"/> 負担率【 0.00 %】 <input type="checkbox"/> 受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> 設定できる <input type="checkbox"/> 設定できない理由() 【24】

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	天水支所、天水町公民館、天水図書館、社会福祉協議会天水支所、包括支援センター天水支所の5つの多機能型複合施設となり、利用者の利便性が図られ利用者の増加が見込まれる。				
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続	総合判定	A
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	平成30年7月2日に落成し事業は終了する。1か所で複数のサービスが受けられることとなった。				

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【27】	玉名市天水市民センター整備については、平成25年3月に策定された玉名市公共施設適正配置計画に基づき、老朽化が進んでいた旧天水町公民館を含めた支所周辺施設機能を、新耐震基準で建てられている旧天水保健センターを中心とした集約施設に移転することにより、地域住民の利便性を図る。また、同センター内において旧天水町公民館図書室を図書館に移行することにより機能充実を図る。	評価責任者 小山 聡
-------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------